

分野:専門分野Ⅱ 科目:成人看護学臨地実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次～ 3年次
講師名	臨床指導者・臨床指導教員		実務経験		
授業概要	健康障害のある対象としての成人を総合的に理解し、生命の維持・回復にむけて、対象の看護の必要性を認識し、その人らしい生活過程をととのえることができる。				
到達目標	1)成人の身体的、精神的、社会的特徴及び発達課題をとらえることができる。 2)周手術期にある対象の現在の症状あるいは治療処置が、対象にどのような影響を及ぼしているのかを知り、健康回復に向けて科学的根拠に基づいた看護実践ができる。 3)対象及び家族の生活過程を理解し、健康障害及び治療処置による変化に対応した個別的な援助を行うことができる。 4)周手術期看護における医療チームの連携を学び、看護職者の役割を理解できる。 5)対象及び家族に疾病の予防、健康の回復の為の教育活動が実施出来る。 6)看護の継続性を理解し、社会復帰への援助、在宅ケアの援助方法が理解出来る。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
		臨地実習要綱「成人看護学」参照 1. 身体的、精神的、社会的特徴及び発達課題をとらえ、成人の全体像をとらえることができる。 2. 周術期にある対象の変化、反応に応じた看護過程の展開ができる。 3. 周術期にある対象の変化、反応に応じた援助ができる。 4. 対象の健康回復に向けた教育活動、援助ができる。 5. 患者、家族と援助的人間関係を確立することができる。 6. 医療チーム、関連職種との連携について理解できる。	実習	臨床指導者 臨床指導教員	
使用テキスト等	医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学1～15 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論				
評価方法	指導者40点満点、教員60点満点を足し合わせて100点評価とする。(臨床指導者評価40%、教員評価60%)				

分野:専門分野Ⅱ 科目:老年看護学実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次～ 3年次
	臨床指導者・臨床指導教員	看護師			
授業概要	高齢者の身体的、精神的、社会的な変化をとらえ、健康障害が日常生活に及ぼす影響を理解し、高齢者の生の完成を目指して、人生の最終段階である老年期への安楽な生活を援助することができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢による身体的、精神的社会的な変化をとらえることができる。 2. 加齢及び健康障害が及ぼす日常生活への影響をとらえ、加齢および健康障害による変化に対応した援助を行うことができる。 3. 高齢者の発達段階や生活過程を理解し、高齢者を尊重した対応ができる。 4. 高齢者および高齢者をもつ家族の心理を理解し、加齢および健康障害による変改に応じた生活の再構築を援助することができる。 5. 老年看護のシステムづくりを関係従事者とともにいき、それぞれの協力関係で、よりよい看護が推進できることを理解することができる。 				
授業計画	実習要綱【老年看護学臨地実習】参照				
評価方法	実習要綱【老年看護学臨地実習】参照(臨床評価40%、教員評価60%)				

分野:専門分野Ⅱ 科目:小児看護学臨地実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次 ~3年次
講師名	臨床指導者・臨床指導教員	実務経験	看護師		
授業概要	小児の成長・発達段階を踏まえて対象を知り、健康上の問題をもった小児とその家族の必要としている援助を理解し、小児の看護を行うための基礎能力を養う				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の疾患の特徴的な症状と行われている診療の内容を学ぶ。 2. 小児の成長・発達段階と症状に応じた看護上の問題がわかる。 3. 小児の成長・発達段階と症状に応じた看護技術と援助を学ぶ。 4. 小児および家族の価値観を尊重した対応、家族を含めた援助、技術を学ぶ。 5. 低出生体重児の特徴を理解し、必要な看護および保育環境について学ぶ。 6. 健康な小児の発達過程と生活について、実際を通して学ぶ。 				
授業計画	授業内容			授業方法	講師
	臨地実習要綱「小児看護学」参照			実習	臨床指導者 臨床指導 教員
使用テキスト等	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護学論 その他の文献は随時紹介				
評価方法	臨地実習要綱「小児看護学」に基づき教員が評価する				

分野:専門分野Ⅱ 科目:母性看護学臨地実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次 ～3年次
講師名	臨床指導者・臨床指導教員	実務経験	看護師・助産師		
授業概要	妊娠・分娩・産褥各期の正常な経過を理解し、生命誕生のすばらしさを感じ、新生児の正常な発達へ向けて児の母親・父親の役割、またその他の人的、物的環境をよい状態に保つ必要性を知る				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥期の一般的経過とそれらに伴う母性の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解する 2. 妊娠・分娩・産褥各期の応じた適切な援助・保健指導の重要性とその方法を理解する 3. 新生児の特徴の理解と全身の観察事項に基づいて適切な援助ができる 4. 家庭・地域社会において母子の生活を継続して援助するための社会資源の活用について理解する 5. 父親・家族に対して、その心理的・社会的変化を理解する 6. 学生自身の母性、父性の変化に気づくことができる 				
授業計画		授業内容		授業方法	講師
		臨地実習要綱「母性看護学」参照		実習	臨床指導者 臨床指導 教員
使用テキスト等	母性Ⅰ・Ⅱ その他の文献は随時紹介				
評価方法	臨地実習要綱「母性看護学」参照				

分野:専門分野Ⅱ 科目:精神看護学実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次 ～3年次
講師名	臨床指導者・臨床指導教員	実務経験	看護師		
授業概要	精神障害のある対象の健康問題が生活行動に及ぼしていることを総合的に理解し、その治療及び看護の実践を通して看護師の役割を学ぶ。また、実習を通して自己洞察する力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害をもつ患者を理解できる 2. 精神医療の特殊性と看護師の役割が理解できる 3. 入院している患者の日常生活場面を通して治療的アプローチ、看護について学ぶことができる 4. 精神に障害を持ち、地域で生活している患者を理解し、精神の健康のための援助を学ぶことができる 5. 患者との相互関係の過程を通して、看護師に求められる態度を学ぶことができる 				
授業計画	授業内容			授業方法	講師
	臨地実習要綱「精神看護学」参照			実習	臨床指導者 臨床指導 教員
使用テキスト等	精神看護学Ⅰ・Ⅱ（医学書院） その他の文献は随時紹介				
評価方法	臨地実習要綱「精神看護学」参照				